

JIM-NET 年次報告書

Annual Report **2019**





コロナに負けないで、質の高い支援をめざします

代表理事 鎌田 實

新型コロナウイルスのパンデミックが広がっていますが、こんな時代だからこそ JIM-NET は元気を出して、温かな支援をしていこうと思っています。

2019 年度の決算は、1,632 万円の赤字が出ました。監事の村山文彦先生に厳しく視ていただいているのですが、NPO としては経営は盤石というお墨付きをいただきました。

理事会や総会で決算が承認された後、すぐに 1 千万円のご寄付がありました。大阪の A さんという方です。大変ありがたいことです。2 回目の大口の寄付です。お電話でお礼を言いますと、「多分、こんな時代だから厳しいのではないかな」と思って、支援をしたとのことでした。涙が出るほど嬉しかったです。スタッフ一同、これでまた気合が入りました。コロナに負けずに、リモートのイベントなどにもトライしながら、質の高い支援をしていこうと考えています。

シリア紛争が複雑な形で続いており、今年も新たにシリアからイラクに 2 万人の避難民が出ております。ダラシャクラン難民キャンプや、バルダラシュ難民キャンプの支援を継続しつつ、ベテランのスタッフになったリームが、安全に配慮しながらシリア国内のワショカニ難民キャンプの支援を考えています。

アルビルに作った JIM-NET ハウスが大変好評で、利用者

も多く、隣にあるナナカリ病院からも子どもや親御さんから感謝されています。さらに他都市の病院からも同様の施設を作って欲しいという要望も出ております。2020 年度は JIM-NET ハウスⅡの建設に向けて、前向きに動いていこうと考えています。外務省日本 NGO 連携無償資金協力（N 連）から補助金などいただけるように動きながら、チョコ募金など自前の活動をして募金を集め、経済的な基盤もしっかり作っていきたくと考えています。

首都バグダードの支援も継続して行っています。南部バスラの支援は長い間、子どもの平和と生存のための童話館基金が高額の応援をしてくださっています。この寄付金のお陰で、バスラの白血病の子どもたちの支援のクオリティを上げることができています。コロナ問題が解決した時には、童話館の代表と鎌田がバスラを訪ねたいと考えています。

2019 年度から、福島支援事業が充実してきました。さらに 2020 年度、福島の子どもたちを助ける質の高い支援を行っていきたくと考えております。

多種多様なイベントも考え、会員の方や支援者の皆様と今まで以上に交流を保っていきたくと考えております。チームワークを良くして、より充実した支援をしていきますので、ご支援の程何卒よろしくお願いいたします。

組織体制（2020 年 3 月現在）

【役員】

代表兼事務局長	鎌田 實	理事	神谷さだ子
副代表	池住義憲	理事	平野裕二
事務局次長	鎌仲ひとみ	監事	村山文彦
理事	井下俊	顧問	谷山博史
理事	今井高樹		

【スタッフ】

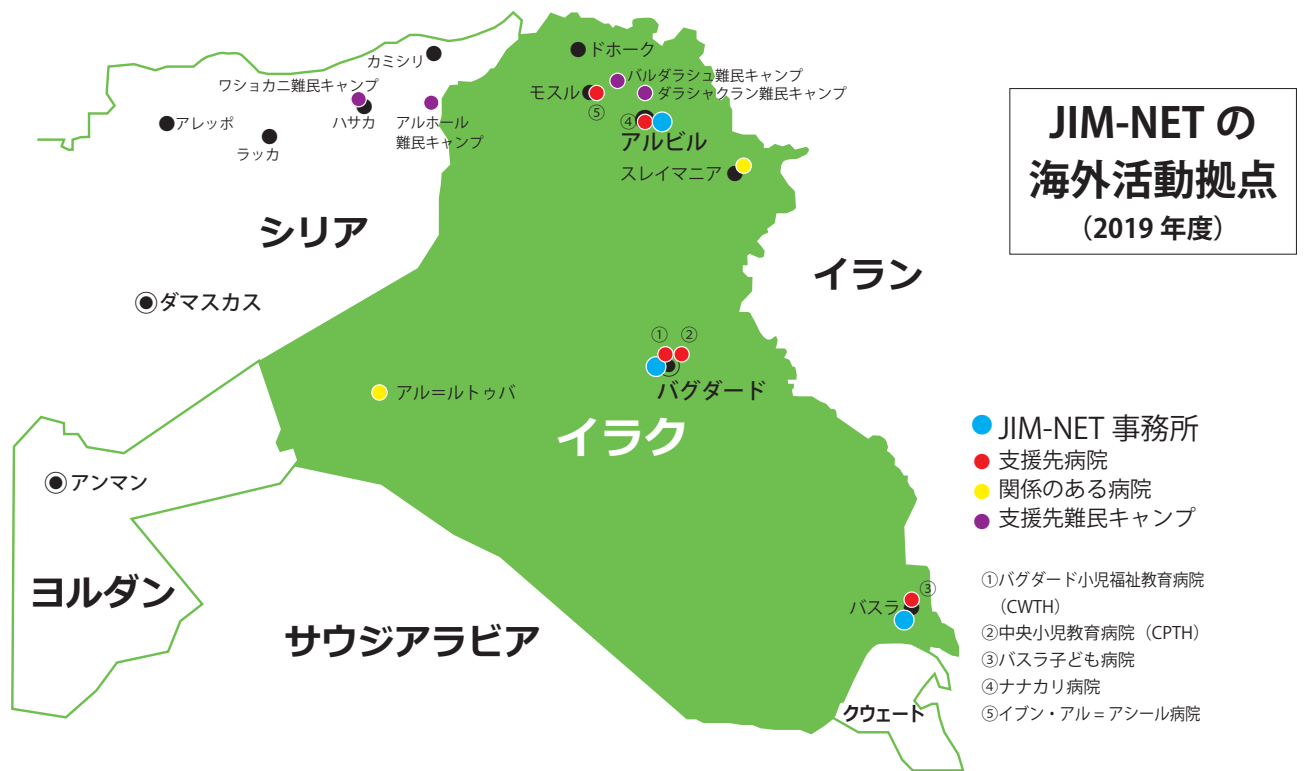
東京事務所：10 名 アルビル事務所：1 名
現地スタッフ：アルビル 7 名、バグダード 2 名、バスラ 1 名

【サポーター】

ラナサポーター*：421 名 サポーター**：851 名

* ラナサポーター：年会費 1 万円。年会費のうち 3 千円が事務局の運営に充てられるほか、7 千円が子どもたちの医療支援費に充当されます。

** サポーター：年会費 3 千円。事務局の運営に充当されます。



JIM-NETのあゆみ

1990年代半ば、イラクの子どもたちの間で、がん・白血病の発症率が急激に増加し始めました。1991年の湾岸戦争時に、米軍が使用した劣化ウラン弾の放射能の影響だと思われます。しかし、湾岸戦争後の経済制裁による抗がん剤や医療機器の輸入制限のため、適切な治療が受けられずに、助かるはずの多くの子どもたちが命を失っていきました。

2003年のイラク戦争で、米軍は再び劣化ウラン弾を使用しました。イラクの病院は破壊され疲弊し、保健行政も機能不全に陥り、増え続ける小児がん・白血病の子どもたちにとって危機的な状況でした。2004年6月、来日したバスラ産科小児科病院のジャンン医師と日本の支援者たちの間で、子どもたちの窮状を救うための話し合いがもたれました。そして、より効率的で継続的な支援体制の確立をめざし、NGO、市民グループ、日本とイラクの医師たちが「日本イラク医療支援ネットワーク (JIM-NET)」を立ち上げました。以降、任意団体として7年あまり活動した後、2012年2月1日、特定非営利活動法人 (NPO 法人) となりました。

2011年3月11日に発生した東日本大震災の直後には、

宮城県石巻市を中心に、医療支援や仮設風呂の提供を行いました。地震と津波で福島第一原子力発電所の事故が起きた福島県にて、放射能の被害を最小限に留めるべく、除染や保養の支援を継続して行いました。また、2012年4月からは、紛争が激化したシリアから大量の難民が発生したことを受け、イラクとヨルダンにて緊急支援を開始しました。

2018年度には、イラクで初となる小児がん総合支援施設 (通称：JIM-NET ハウス) がアルビルのナナカリ病院敷地内に完成し、がんの子どもたちへの教育サポート、患者家族からの相談受付、宿泊場所の提供など心理社会的サポートが本格的に開始されました。

JIM-NET は、イラクの小児がんの子どもたちが自国できちんと治療を受けられるようになり、先進国並みの生存率となるように支援を続けます。福島支援活動も継続し、放射能汚染から子どもたちの健康を護る活動を行う団体への支援を実施していきます。また、シリア難民支援とイラク国内避難民支援にも継続して取り組んでいきます。

JIM-NET の活動「3つの柱」



小児がん支援



イラクでは、2019年10月に首都バグダードを中心に高い失業率や政権の汚職に対するデモが発生しました。当初、若者を中心としたデモは世代を超えて大きな広がりを見せ、12月にマハディ首相は辞任に追い込まれましたが、デモは現在も断続的に続いています。

2020年1月には米国によるイラン革命防衛隊のソレイマニ司令官殺害に端を発し、イラン革命防衛隊がイラク国内の米軍基地を攻撃しました。日本人スタッフは緊急退避勧告により、一時帰国となりました。2月には、イラクで初となる新型コロナウイルスの感染者がナジャフで確認され、その後全国に感染が拡大しています。

不安定な治安、デモや感染症の拡大など困難な状況が続きましたが、JIM-NETでは現地スタッフと連携を密に取り、医療支援を止めることなく実施することができました。JIM-NET

JIM-NET ハウスのアートルームで絵を描く子どもたちとボランティア教師



ハウスの運営も軌道に乗り、現地保健局や教育局と共に、がん患者及び患者家族への心理社会的なサポートの充実を図ってきました。また、各病院への医薬品支援は予定通り実施することができ、新型コロナウイルス感染拡大予防のためにアルビル、バグダード、バスラの各病院に対し、マスクやアルコールジェルなど感染症対策予防の緊急支援も実施しました。

こんな活動をしました



▶ 医薬品支援・消耗品支援

3地域の小児がん専門病院に、抗がん剤を中心とした医薬品、医療品を支援しました。

バグダード	50,592 米ドル
バスラ	129,332 米ドル
アルビル	59,000 米ドル

(新型コロナウイルス対策緊急支援を含む)

* 医薬品は、子どもの平和と生存のための童話館基金様、株式会社カタログハウス様、生活協同組合パルシステム東京様、日本労働組合総連合会様よりご支援いただきました。



地元の医療系大学生に向けて JIM-NET の活動を紹介

▶ JIM-NET ハウス

5月に、イラク初となる小児がん総合支援施設「JIM-NET ハウス」がオープンし、本格的に小児がん患者とその家族への心理社会的な支援が開始されました。延べ面積 374.4㎡の地上3階建てのこの施設には、子どもたちのためのクラスルームやプレイルーム、アートルームが作られ、夏休み期間中は1日20～30名ほどの子どもたちが当ハウスを利用しました。3階は宿泊施設となっており、最大約20名の患者家族が宿泊することができます。台所や洗濯機も完備され、長期的な滞在にも対応しています。

年間利用者数は延べ **2,569 名** でした。



JIM-NET ハウスでは、患者家族の悩み相談にも応じている



★**教育支援**・・・患者や治療を終えた子どもたちを対象に自治政府保健省、現地保健局及び教育局協力のもと、派遣されたボランティア教員が学習サポートを行っています。

★**青少年活動**・・・ボランティア教員による音楽や図工、美術指導（アクティビティ）を実施しています。

★**ピアサポート（支え合い活動）**・・・小児がんを克服した女性と父親を招聘し、現在小児がんの治療に励んでいる患者家族へ自らの経験談を語り、アドバイスを行う活動を実施しました。

※その他、日本からアーティストが来訪し、子どもたちの心理社会的な支援のためにコンサートを開催しました。



JIM-NET ハウスでのアクティビティ

▶「地域で支える」がんの子どもたちへの取り組み

★**学校での啓発活動**・・・「がんはうつる病気」と誤解する子どもたちも多く、アルビル教育局の協力のもと、小学校、高校にて、がんについての基礎知識や「がんの友達とどう接したらいいか」を考える講義を行いました。

★**現地 NGO や地域ボランティア団体との協働**・・・

JIM-NET ハウス運営に関して現地 NGO 「Kurdistan Save the Children」との連携を強化。また、Global Shapers やサラハディン大学有志とがんの子どもたちのためのチャリティイベントの企画や運営を行っています。

▶**貧困患者支援**

貧困患者に対し、医薬品購入費や治療に係る病院までの交通費、必要に応じて生活必需品の支援を実施しました。また、患者情報のデータ管理を強化し、迅速かつ効率的な貧困患者への支援に繋がっています。

アルビル 104 名

（ローカル患者 57 名・国内避難民及びシリア難民 47 名）

バグダード 154 名

バスラ 209 名



イラン出身の難民のがん患者、シャハワンさん

2019 年 10 月、女優のサヘル・ローズさん（写真中央）がアルビルを訪問くださり、小児がんを患う子どもたちと触れ合う中で、JIM-NET ハウスで暮らしていたある家族と出会いました。

慢性骨髄性白血病（CML）を患うシャハワンさん（32 歳）は、イラン出身のクルド人で、過激派組織 IS（イスラム国）との戦闘に参加するため 2014 年にイラクへ越境、その後白血病を発病し、迫害の危険もあるためイランに戻れなくなりました。またシャハワンさんの家族も、彼の治療を助けるために家財道具一式を売り払ってイラクへと越境しました。

家族を戦争で失い、幼少期に養母さんと 2 人だけでイランから来日したサヘルさん。異国で生きる孤独を、苦しみを知る彼女は、その後もシャハワンさん一家と交流を続けています。

11 月、サヘルさんのご協力のもと、シャハワンさんのように難民という立場の中でも特に孤立している患者さんたちの薬代を支援するクラウドファンディングを開始しました。

お陰さまで計 60 万円近くのご支援をいただきました。

「兄は、私たち家族の生き甲斐であり宝物です。1 日でも長く生きていてほしい。そのために私も生きています。日本の皆さまがいなかったら、兄は亡くなっていました。JIM-NET を始め、多くの皆さまへ感謝申し上げます。」

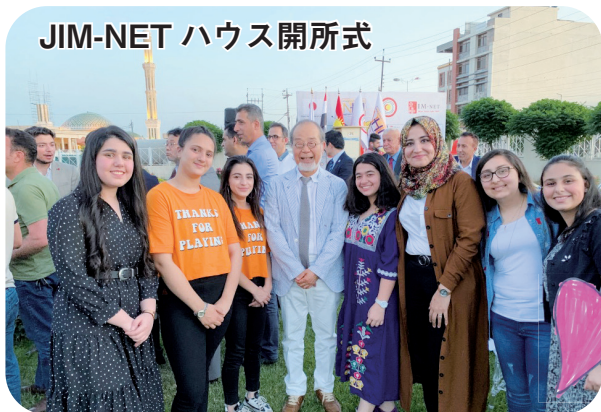
これはシャハワンさんの妹のアレズさんの言葉です。

シャハワンさんは、現在も厳しい闘病生活を続けていますが、皆さまのご支援のお陰さまで生きる希望を繋いでいます。



サヘル・ローズさんとシャハワンさん一家（JIM-NETハウスにて）

JIM-NET ハウス開所式



ナナカリ病院長が訪問



サマースクールに参加した子どもとボランティア教師



ババガヌージュ公演



サマーアクティビティの卒業式



JIM-NETハウス この1年

ある日の院内学級



SHOGOさんライブ



小児白血病を克服したハウラ(写真右)の訪問



大学生有志によるクリスマスパーティー



「国際小児がんデー」イベント

緊急支援



9年目に入ったシリアの紛争は、シリア北西部においてはイドリブ県をめぐる反体制派と政府軍の戦闘が激化しています。新たに100万人近い避難民が発生しました。また、クルド人勢力が実質的に支配をするシリア北東部では、2019年10月にトルコ軍が侵攻、シリア国内で新たに25万人近くが避難民となり、イラク国内にも2万人近い人々が避難を強いられました。

これらの状況に鑑みて、JIM-NETでは昨年同様ダラシャクラン・シリア難民キャンプに暮らす妊産婦に対する支援に加え、新しい避難民の流入を受けて増設されたイラク・ドホーク県に位置するバルダラシュ・シリア難民キャンプ(※)、シリア国内のワショカニ難民キャンプに対して、医薬品支援を実施しました。

また、イラク・モスル市のイブン・アル＝アシール病院と



バルダラシュ・シリア難民キャンプ支援

イラク西部アル＝ルトウバ市の病院からの要請を受け、それぞれ医薬品・医療物資の支援を実施しました。

※バルダラシュ・シリア難民キャンプ緊急医薬品支援では日蓮宗務院様よりご支援いただきました。

こんな活動をしました

▶イラクのダラシャクラン・シリア難民キャンプでは、妊産婦に対して葉酸の配布、無乳糖粉ミルクやオムツの配布を継続実施しました。また、妊産婦が情報交換を行い、手工芸を学べるワークショップを開催しました。キャンプ内の診療所に超音波専門医を派遣しました。

▶イラクのバルダラシュ・シリア難民キャンプに対して、計7,000米ドル分の医薬品・サプリメントの支援を2回に分けて実施しました。

▶シリア国内では、国内避難民が暮らすワショカニ難民キャンプに対し、6,000米ドル分の医薬品支援を実施しました。

▶モスルのイブン・アル＝アシール病院に対して、6,620米ドル分の抗がん剤支援を実施しました。

▶イラク西部、アル＝ルトウバ市からの要請を受け、1,500米ドル分の医療物資支援を実施しました。



ダラシャクラン難民キャンプ・粉ミルク支援



術後のシドラ

シドラの手術が無事に終了しました！！

2018年、緊急支援を呼びかけ、多くの方からご支援いただきましたシドラ（シリア難民としてダラシャクラン難民キャンプに暮らす少女）の心臓手術が、無事に終わりました。生まれつき心臓に穴が開いており、成長を待ってからの手術予定でしたが、ようやくこの日を迎えることができました。まだ感染症の心配も残るため、しばらくはマルチビタミン剤を服用する必要があり、定期的に術後検査も予定されています。引き続き、現地のスタッフを中心にケアしていきます。



福島支援



▶福島基金

2019 年度より、福島支援の内容を見直し、支援の条件に合う活動や団体に対して、公募・推薦によって選抜し、助成しました。(2019 年度募集期間：2019 年 9 月 26 日～ 11 月中旬)

2019 年度は以下 8 団体・事業に決定し、支援しました。(五十音順)

団体名	事業名	助成額
	事業概要	
NGO 心援隊※	春休み 疎開保養プロジェクト	20 万円
	各種行事を含む子ども保養活動	
ぐるうぶ未来※	こどもの 命を まもりたい	25 万円
	安定ヨウ素剤及び原子力災害啓発資料の配布	
原発なくせ、千葉アクション ～福島の子どもたちを放射能から守る プロジェクト@ちば	保養プロジェクト	10 万円
	民宿での子ども保養活動	
こらん処よろず相談会	第 13 回 こらん処よろず相談会	6 万 6 千円
	健康相談、法律・生活相談、鍼灸・昼食などの提供	
日本チェルノブイリ連帯基金	ふくしまの子どもの夏休み 健診と保養でリフレッシュ！IN 松本	27 万円
	健康診断、レクリエーションを含む保養活動	
NO to YES	2019 山の家の冬休み	30 万円
	健康診断、レクリエーションを含む保養活動	
福島の子どもたち香川へおいでプロジェクト※	2020 福島の子どもたち香川へおいで春休み ホームステイ	8 万円
	ホームステイとレクリエーションを含む保養活動	
ミンナソラノシタ	第 3 回 幼稚園留学	30 万円
	幼稚園児と母親の幼稚園への短期留学	
	合計	156 万 6 千円

当初は、2019 年度内に事業を完結することが助成の条件でしたが、2020 年に入り、拡大している新型コロナウイルス流行の影響により、延期となった団体については、2020 年度に実施予定です。

※延期が決定した団体：ぐるうぶ未来、福島の子どもたち香川へおいでプロジェクト、NGO 心援隊

▶その他福島支援

①特定非営利活動法人アースウォーカーズ

福島の子どもたち日帰りリフレッシュと野菜プロジェクト (63 万 6 千円)

②特定非営利活動法人アースウォーカーズ

再生可能エネルギーを学ぶ 福島・ドイツ高校生交流プロジェクト (25 万円)



福島の子どもたちの保養@松本



広報・イベント



【刊行物】

- ・「JIM-NET 便り」4回発行
- ・「アニュアルレポート」1回発行

【主な開催イベント】

2019 年

4 月 「いのちの話」

出演者：安田純平、深結、鎌田實

9 月 「祝 JIM-NET ハウスオープン報告会」

出演者：斉藤亮平 (JIM-NET 海外事業担当)

11 月 「音楽×チョコレート＝平和」

チョコ募金第 15 回・JIM-NET 15 周年記念イベント

出演者：ババガヌージュ、安田菜津紀、湯川れい子、Singers for Peace、鎌田實

「異国で生きる孤独～イラン人がん患者、シャハワンさんと出会って～」

出演者：サヘル・ローズ、斉藤亮平 (JIM-NET 海外事業担当)



「音楽×チョコレート＝平和」



サヘル・ローズさん

2020 年

2 月 「イラク少女たちのものがたり」

ギャラリー絵画展



ギャラリー絵画展



チョコ募金



毎年冬期に、1口550円ご寄付くださった方に、チョコレートをお礼としてプレゼントしている募金キャンペーンです。

2019 年度は、みなさまの温かいご支援のお陰で、チョコ募金 15 回目を迎えることができました。15 回目の節目ということで、デザイン投票を行い、人気のあった中から、『復刻版』として 4 種類のデザインを選びました。

また、チョコ缶と同じ絵柄を使ったポストカードもたくさんのお申込みをいただき、ご支援してくださった皆様から感謝申し上げます。

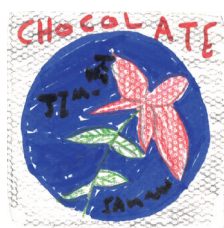
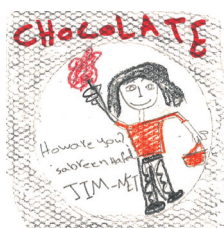
①テーマ：『CHOCOLATE for PEACE』

②取組個数：六花亭様の協力により、14 万個

③実施期間：2019 年 11 月 15 日～2020 年 2 月 3 日まで

◆チョコ募金運営協力（敬称略）

六花亭製菓株式会社 / 古茂田工業株式会社 / 有限会社山猫印刷所 / 社会福祉法人 川崎市社会福祉事業団 KFJ 多摩はなみずき / 協同組合 JASMEQ / 柳原出版株式会社 / 高尾斉 / 筑波学院大学メディアデザインコース / SEO 株式会社



2020年度事業計画

海外事業

アルビル県を中心とした包括的小児がん患者支援

事業地：イラク・クルド自治区アルビル

対象者：約 4,000 名（JIM-NET ハウス滞在の患者家族含む）

期間：2020 年 4 月 1 日～ 2021 年 3 月 31 日

活動内容：JIM-NET ハウス運営、医薬品支援、貧困患者支援、アドボカシー活動、JIM-NET 会議、スタッフ能力向上研修

シリア難民・イラク国内避難民に対する緊急医療支援

事業地：イラク、シリア

対象者：約 500 名

期間：2020 年 4 月 1 日～ 2021 年 3 月 31 日

活動内容：粉ミルク支援、医薬品支援、リプロダクティブヘルス関連

バグダード小児がん支援

事業地：イラク・バグダード

対象者：約 600 名

期間：2020 年 4 月 1 日～ 2021 年 3 月 31 日

活動内容：医薬品支援、貧困患者支援、院内学級

バスラ小児がん支援

事業地：イラク・バスラ

対象者：約 1,000 名

期間：2020 年 4 月 1 日～ 2021 年 3 月 31 日

活動内容：医薬品支援、貧困患者支援、院内学級

※「スレイマニア県ヒワ病院内に小児がん総合支援施設建設及び運営に関わる研修事業」を外務省日本 NGO 連携無償資金協力にて実施を検討している。

国内事業

福島支援

- ・前年度と同様に、2020 年 6 月 1 日から公募にて、支援先を募る。
- ・広報活動として、オンラインを使ったイベントを行う。

サポーター管理・ファンドレイジング

- ・サポーター・寄付については、新型コロナウイルスの影響で減少が予想されるため、クラウドファンディングなどのキャンペーンを企画する。
- ・マンスリー募金者を増やす工夫をする。

広報・イベント

- ・広報
HP の充実化（写真・グッズ・アーティストの更新）。イラク人スタッフによる SNS 発信の充実を図る。
- ・イベント
現地報告会に加え、料理・音楽イベントを企画・開催。イベントのオンライン配信化。

チョコ募金

- ・テーマ
CHOCOLATE for PEACE
- ・デザイン
子どもたちが描いたイラクやシリアの自然を、チョコ缶のデザインとする。
- ・取組個数・受付
取り組み個数：10 万個
※新型コロナウイルスの経済への影響を考慮して、2020 年度は個数を減らし、取り組む。
受付：2020 年 11 月中旬から受付スタート予定。



2019年度決算

※活動計算書

● 2019年4月1日～2020年3月31日

I. 経常収益 (単位: 円)	
科目	決算額
受取会費	(正会員受取会費) 70,000
	(ラナサポーター受取会費) 4,470,000
	(サポーター受取会費) 2,720,750
	合計 7,260,750
受取寄附金	(受取寄付金) 32,930,073
	(チョコ募金) 82,083,907
	合計 115,013,980
受取助成金等	(受取補助金) 300,000
	(受取助成金) 3,034,110
	合計 3,334,110
事業収益	0
その他収益	(受取講演料等) 60,550
	(雑収入) 34,183
	(受取利息) 13,287
	合計 108,020
経常収益計	125,716,860

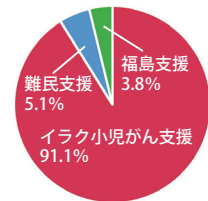
II. 経常費用／III. 経常外収益／IV. 経常外費用 (単位: 円)	
科目	決算額
事業費	人件費 (給与手当、通勤費他) 29,509,099
	プロジェクト物資費等(医薬品等支援) 44,377,382
	旅費交通費 5,838,533
	広告宣伝費 3,758,582
	寄付金原価 (チョコ製造費他) 24,139,469
	その他費用 (水道光熱費、家賃他) 8,084,515
事業費計	115,707,580
管理費	人件費 (給与手当、通勤費他) 10,700,171
	その他経費 (事務所家賃他) 7,623,819
管理費計	18,323,990
経常費用計	134,031,570
経常外収益計	3,233
経常外費用計	8,009,352
当期正味財産増減額	-16,320,829
前期繰越正味財産額	200,074,804
次期繰越正味財産額	183,753,975

※貸借対照表

● 2020年3月31日現在

資産の部 (単位: 円)		負債の部 (単位: 円)	
科目	金額	科目	金額
1. 流動資産		1. 流動負債	
現金預金	190,408,102	未払金	6,943,854
未収金	4,822	未払費用	645,088
貯蔵品	7,185	前受金	0
前渡金	0	預り金	330,899
前払費用	343,099	流動負債合計	7,919,841
流動資産合計	190,763,208	2. 固定負債	0
2. 固定資産		負債合計	7,919,841
什器備品	285,648	正味財産の部 (単位: 円)	
敷金	624,960	科目	金額
固定資産合計	910,608	福島基金	3,501,362
資産合計	191,673,816	緊急時対応準備金	10,000,000
		一般正味財産額	170,252,613
		次期繰越正味財産合計	183,753,975
		負債及び正味財産合計	191,673,816

各支援事業の費用の割合 (経常費用)



※監査報告書

監査報告書 INDEPENDENT AUDITOR'S REPORT	
特定非営利活動法人 JIM-NET の 2019 年度決算 (2019 年 4 月 1 日 - 2020 年 3 月 31 日) について、帳査の結果、事業は適正に実施され、また活動計算書および貸借対照表は、一般に公正妥当と認められる会計原則に基づいて作成されていることを認める。 I have audited the financial statement of NPO JIM-NET as of March 2020 and acknowledged that revenue and expenditures for the Fiscal Year 2019 in the activity statement and balance sheet were based on generally accepted accounting principles.	
日付: 2020年5月27日	
監事: 村山文彦	

2020年度予算

※活動予算書

● 2020年4月1日～2021年3月31日

I. 経常収益 (単位: 円)	
科目	予算額
受取会費	(正会員受取会費) 70,000
	(ラナサポーター受取会費) 3,200,000
	(サポーター受取会費) 2,250,000
	合計 5,520,000
受取寄附金	(受取寄付金) 25,381,000
	(チョコ募金) 58,060,000
	合計 83,441,000
受取助成金等	(受取補助金①日本NGO連携無償資金協力) 81,750,174
	(受取補助金②その他) 769,826
	(受取助成金) 2,500,000
	合計 85,020,000
その他収益	合計 0
経常収益計	173,981,000

II. 経常費用 (単位: 円)	
科目	予算額
事業費	人件費 (給与手当、通勤費他) 32,525,000
	プロジェクト物資費等(医薬品等支援) 38,027,000
	日本NGO連携無償資金協力事業費 (JIM-NET ハウス II 建設関係費) 81,750,174
	旅費交通費 5,425,000
	広告宣伝費 4,537,000
	寄付金原価 (チョコ製造費他) 15,496,000
	その他費用 (水道光熱費、家賃他) 9,281,000
事業費計	187,041,174
管理費	人件費 (給与手当、通勤費他) 10,510,000
	その他経費 (事務所家賃他) 8,795,000
管理費計	19,305,000
経常費用計	206,346,174
当期収支差額	-32,365,174

● JIM-NET 参加団体 (50 音順)

【アラブの子どもとなかよくする会】

1991 年の湾岸戦争後からアラブ地域、とくにイラクの子どもたちへの支援活動を開始、1993 年に会を設立。
がんの子どもたちへの医療支援のほか、クラフト作り (アフアーク・プロジェクト) を通じて患者家族の生活支援を行っています。

【カタログハウス基金】

カタログ雑誌「通販生活」では、信頼できる暮らしの道具を厳選して販売するとともに、戦争や災害に苦しむ子どもたちの救援活動に取り組んでいます。

【子どもの平和と生存のための童話館基金】

童話館グループは、長崎市にある絵本・子どもの本を専門にあつかう会社です。
2001 年、童話館の創業 20 周年記念として、「子どもの平和と生存のための童話館基金」が設立されました。

【「サダコ」・虹基金】

原爆の子の像のモデル佐々木禎子さんと同じ病院で過ごした故・大倉記代さんが、絵本『想い出のサダコ』出版をきっかけに
2006 年 3 月に設立した基金です。

【スマイルこどもクリニック】

小児救急施設の不足が深刻な社会問題となる中、2001 年に開院された 24 時間診療の小児クリニックです。イラク難民キャンプでの健康診断、子どもたちの手術費の援助など様々な支援を行っています。

【日本国際ボランティアセンター (JVC)】

1980 年、カンボジアやラオス、ベトナムでたくさんの難民が生まれた際、タイの難民キャンプに駆けつけた日本の若者たちにより誕生しました。現在、アジア、アフリカ、中東、そして日本の震災被災地で活動しています。

【日本チェルノブイリ連帯基金 (JCF)】

1991 年 1 月、チェルノブイリ原子力発電所事故被災者への医療支援を目的として設立された認定 NPO 法人です。
2004 年からはイラクの小児白血病・小児がんの子どもたちへの支援も行っています。

● ご支援いただいた皆さま (敬称略)

◆助成金

生活協同組合パルシステム東京 平和カンパ/日本労働組合総連合会 愛のカンパ/日蓮宗宗務院 あんのん基金

◆ファンドレイジングサービス

TM コミュニケーションサービス株式会社 (お宝エイド) / 株式会社 ブギ (古本チャリティ募金) / gooddo 株式会社 (gooddo)
ソフトバンク株式会社 (つながる募金) / 株式会社 STYZ (Syncable)

◆ご支援いただいた企業・団体

誌面の都合上、大口のご寄付をいただいた企業・団体を掲載しております。
ご寄付をいただきましたその他の企業・団体・個人の皆様に厚く御礼申し上げます。

・チョコ募金

パルシステム生活協同組合/アルソア本社株式会社/ピア&カフェ BERG/自然派くらぶ生活協同組合/札幌イラクチョコ募金の会/聖隷福祉事業団労働組合/大王製紙株式会社/株式会社ポブラ社/カタログハウスの店 東京店/ゴスペルスパークル/ブーク人形劇場/(特非) WE21 ジャパンさかえ/子どもの平和と生存のための童話館基金/SOMPO ケア株式会社/旭松食品株式会社/やまもと耳鼻咽喉科
ご寄付をいただきましたその他の企業・団体・個人の皆様に厚く御礼申し上げます。

・一般寄付

子どもの平和と生存のための童話館基金/株式会社カタログハウス/公益財団法人 毎日新聞大阪社会事業団/佑月・インターナショナル/全国友の会/有限会社エリコ通信社/認定 NPO 法人 WE21 ジャパンよこすか/(特非) WE21 ジャパン青葉/認定 NPO 法人 WE21 ジャパンこうほく/明日のカプロジェクト/瑞穂のぞみ幼稚園/(特非) WE21 ジャパン港南/(特非) WE21 ジャパン伊勢原

2019 年度年次報告書

2020 年 7 月 22 日発行



特定非営利活動法人 JIM-NET (ジムネット)

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 4-4-11 内藤ビル 2C

電話: 03-6228-0746 E-mail: info-jim@jim-net.net

寄付金振込先: 郵便振替口座 00540 - 2 - 94945 加入者名 日本イラク医療ネット

ゆうちょ銀行 金融機関コード 9900 店番 059

預金種目 当座 店名 ○五九店 (○は漢数字のゼロ) 口座番号 0094945

<http://jim-net.org/>